

世と教界を見る目を養う(9)

=バビロンの運命①=

■エレミヤ50章;黙示録17章

- ①バビロンの目的:主の民を洗練するため(1-ペテロ4:12)
- ②バビロンの本質:高ぶりと偶像礼拝(31,32,38節)→神を忘れた結果
- ③主の民の状態:迷っている;山の中を行き巡る;憩う場所を忘れた;敵に食われる(6-7節)→現状のキリスト教界の状態(ヘブル3:18-19;4:1-11)
- ④神のバビロンの対処(1-3節)とご自身の民への約束(4-5節;17-20節)
- ⑤バビロンの運命(21-46節)
- ⑥今日のバビロン:(i)宗教的側面(黙示録17章)(ii)経済的側面(同18章)→主によって倒される(黙示録18:2)

■暗証聖句

エレミヤ50:19 そして、イスラエルを元の牧場に連れ戻す。イスラエルはカルメルとバシヤンで草をはみ、エフライムとギレアドの山で心ゆくまで食べる。

50:20 その日、その時には、と主は言われる。イスラエルの咎を探しても見当たらず、ユダの罪も見いだされない。わたしが、生き残らせる人々の罪を赦すからである。

ヘブル4:9 それで、安息日の休みが神の民に残されているのです。

4:10 なぜなら、神の安息にあずかった者は、神が御業を終えて休まれたように、自分の業を終えて休んだからです。

4:11 だから、わたしたちはこの安息にあずかるように努力しようではありませんか。さもないと、同じ不従順の例に倣って墮落する者が出るかもしれません。

ヘブル12:11 およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。